

児童の実態

本学級の児童は、学習課題に対して真面目に取り組むことができる。また話を聞きとり良いことは学習に取り入れようとする児童が多い。しかし思いや考えはあるのに、言葉で伝えることに苦手意識をもっている児童も少なくない。学習の中でペア対話を取り入れることで、自分の考えを理由と共に言う姿やうなずき反応しながら聞く姿が見られるようになってきた。しかし、自分の思いや考えを主張するのみで会話が終わってしまうことも多く、話し手の話に関心を持ち、相手の意見や考えを受け入れながら聞くことにおいてはまだ十分とは言えない。

7月に行ったアンケートでは、「自分の思いや考えを安心して言えますか」の強肯定は64%であった。ペアやグループ活動においては、自分の考えを言うことに対して抵抗感が少なくなっていると考えられるが、全体の場で発言することにおいては、まだ消極的になってしまったり、苦手意識があったりする児童もいる。

単元デザイン

本単元における重点指導事項は、学習指導要領における〔思考力・判断力・表現力等〕の「A 話すこと・聞くこと」(1)オ「目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。」である。児童はこれまで1対1の対話やグループでの簡単な話し合い活動を経験してきている。本単元では、グループの中に司会を立て、その進行にそって協働的に話し合い意見をまとめることをねらいとしている。これまでの児童の話し合いは、自分の意見の出し合いに終始してしまい、友達の意見を受け止めたり、グループとしての考えをまとめたりすることが難しい場面が多く見られた。そこで本単元では、「班のチーム名（合い言葉）」を決める話し合いを言語活動として設定した。これまでの活動から見えた課題を踏まえて、目的に合った思いや考え、願いが込められた合い言葉を決める。そしてグループで1つの合い言葉を決める話し合いを通して、相手の思いや考えを受け止め合うことで、自分の意見に自信を持って伝えることができるようにしたい。

第一次では、これまでの話し合い活動、特に班活動を想起し振り返ることで、課題を確認し、本単元の話し合い活動に目的意識を持てるようにする。また、自分たちが班替えをした際にチーム名（合い言葉）をグループで話し合った時の録画をもとに、更に話し合い活動をレベルアップさせるにはどうすればよいかを考え、話し合い活動への意欲を高めていく。第二次では、話し合いを始める前に、教科書の話し合いの例を用いて、司会の役割や話し合い活動の進め方の工夫を児童の気付きを基に確かめ、見通しをもつことで、それぞれの立場の工夫を見つけ出し、見つけたポイントは「3-1 話し合いレベルアップのわざ」としてまとめ、グループで話し合う活動を見合う際の視点とし、振り返りに活用できるようにする。また、共通点や相違点などに着目して、意見を分類することは、考えをまとめる際に役立つということに気付くことができるようにする。そして、小グループで話し合い、司会者や参加者それぞれの立場を体験していく中で、相手が理解してくれているかどうかを確かめながら話したり、質問や共感、復唱、反応、感想を言うなど相手の話に興味をもって聞いたりすることを大切にしていく。第三次では、学習のまとめとして、「3-1 話し合いレベルアップのわざ」を活用しながら、第一次であげたこれまでの課題と本単元での話し合い活動を比較して、その成長を確認する。またうまくいった話し合いの進行の仕方や言葉の使い方を確認しまとめることで、今後の話し合いに活かし、言葉の使い方を獲得していくようにしていく。

研究主題に迫る手立て

安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を生かし、子どもの主体性を育てる～

- 【自己決定】話し合いの議題について自分の意見を持つことができるようにするために、学習カードを活用する。
- 【自己存在感】自分の役割を果たしながら根拠をもって自分の考えを伝えられるようにするために、思考ツールを活用する。
- 【共感的人間関係】互いの意見の共通点や相違点に着目しながら話を聞き、相手の話を受け入れることができるようにするために、グループでの話し合い活動を仕組む。

グループの合い言葉をきめよう(全7時間)

学習過程	【話し合いの進め方の検討】	【課題の設定 情報の収集 内容の検討】	【考えの形成】	【共有】	
学習活動	①学習の見通しを立てる これまでに経験してきた話し合い活動を振り返る。	②司会の役割と仕方について考える。 ③話し合いの進め方に沿って、参加者が気を付けることを考える。	④話し合いの準備をする。 ・なかま分けの方法を考える。 ・自分の考えを決める。	⑤司会の進行にそって意見を出し合、相違点や共通点を比べる。(本時) ⑥意見をまとめグループの合い言葉を決める。	⑦グループで決まったことを伝え合い、単元の学習を振り返る。
言語活動	「こんな班にしたい」という思いを込めた『チーム名』を決めよう。				
見方考方	互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめる。				

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解している。【(2) イ】	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 【(1)ア】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。【(1)オ】	・これまでに学習したことや話し合いの経験を生かして学習課題を明確にし、学習の見通しを持ち、目的を意識して、司会の進行に沿ってグループで進んで話し合おうとしている。

単元の主な資質・能力

1・2年
互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。

3・4年
目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。

単元の目標

【知識及び技能】
・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解することができる。(2) イ

【思考力、判断力、表現力等】
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。A
(1) ア
・目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。A
(1) オ

【学びに向かう力、人間性等】
・言葉が持つ良さに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとすることができる。

本単元終了時の目指す児童像

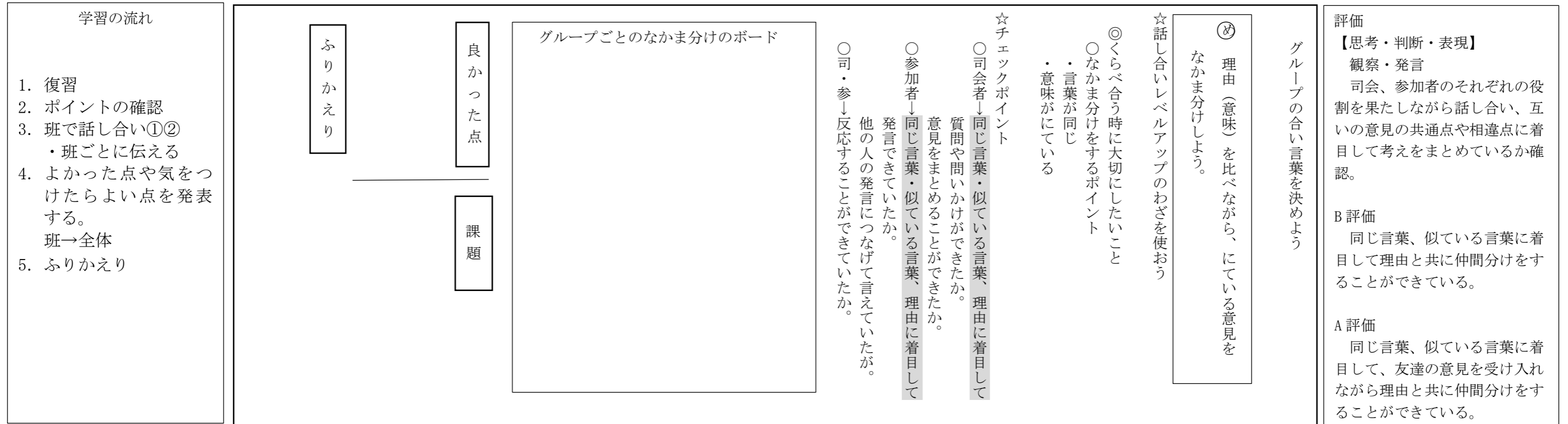
司会や参加者の役割を果たしながら話し合う中で、互いの意見を受け入れ、考えをまとめることができる。

5・6年
互いの立場や意図を明確にしながる計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

中1年
話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。

本時の目標 目的や話し合いの進め方を確認し、司会の進行に沿って、互いの考えを述べながら話し合いをすることができる。

本時における見方・考え方 互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめる。



つかむ・見通す

解決活動

ふり返り

◆前時の学習を想起する。
T:今日はみんなで見つけた話し合いのレベルアップのわざを使い話し合いをしてみましょう。
T:話し合いをレベルアップするためにはどんなことを大事にしたのかな。(それぞれの役割ごとに確認)
C:司会者が大事にしたいことは・・・
C:お互いが人の話をよく聞くことが大事。
T:今日は話し合いの中でも特に意見をくらべ合う方法を考えていこう。たくさん意見が出た時には、どうやって比べたらいいのかな?
C:なかま分けをしたらいい。
T:なかま分けをする時のポイントは?
◆本時の課題を知る。

理由（意味）を比べながら、にている意見をなかま分けしよう。

◆学習の流れを確認する。
・前半・後半に分けて3グループで話し合う。
・話し合う（意見を出し合う→比べる→考えをまとめる）
・良かったところや課題を出し合う。
・ふりかえり

◆話し合い活動をする。
※仲間分けの仕方をおさえる。
「同じ言葉・似ている言葉」「理由」
※お互いに見合う班を決めておく。
T:話し合いを審査する班は、「話し合いレベルアップのわざ」をもとにしてチェックシートをつけてください。
※3つの班が話し合い、3つの班が審査（観察する。）
※司会者は「進め方カード」を参考に話し合いを進行する。
※思考ツールを活用し、共通点や相違点に着目してなかま分けをする。
分類できるようにする。
T:班で意見を出し合った後、共通点や相違点を考えてなかま分けをして考えをまとめてください。

◆話し合い後、各班で振り返りを行う。
※審査する班は良かったところを中心に伝える。

◆交代し、話し合う。

◆グループごとのなかま分けを全体で共有する。
T:どうしてこのようななかま分けにしたのかグループごとに発表してください。

◆良かったところと課題を全体で共有する。
T:話し合いをしてみて良かったところやうまくいかなかったところはどんなところかな。
(成果)
C:司会は話し合いを上手に進め、出た意見をまとめることができていた。
C:参加者は理由をつけて自分の考えが言えていたのがよかった。分からない時は、質問したり、共感や反応ができていた。
「〇〇さんの理由を聞いて～がいいなと思いました。」
(課題)

C:なかま分けがむずかしくて、まとめることもむずかしかった。
C:話し合いがとまってしまった。

◆ふりかえり
T:次の話し合いで取り入れたいわざや次にかしたいことはどんなことかな?